臨床調查個人票

新規	更新

209 完全大血管転位症

■ 行政記載欄 受給者番号 認定 判定結果 | 不認定 ■ 基本情報 姓 (かな) 名 (かな) 姓 (漢字) 名 (漢字) 郵便番号 住所 *以降、数字は右詰めで 西暦 年 生年月日 月 日 記入 性別 1. 男 2. 女 出生市区町村 名 (かな) 姓 (かな) 出生時氏名 (変更のある場合) 姓 (漢字) 名 (漢字) 1. あり 2. なし 3. 不明 発症者続柄 □ 1. 父 2. 母 □ 3.子 4. 同胞 (男性) □ 5. 同胞 (女性) □ 6. 祖父(父方) □ 7. 祖母(父方) 家族歷 □ 8. 祖父(母方) □ 9. 祖母(母方) □ 10. いとこ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入 続柄

月

西暦

発症年月

社会保障					
介護認定	□ 1. 要介護 [2. 要支援	□ 3.なし		
要介護度	□ 1 □ 2	<u> </u>	<u> </u>	5	
生活状況					
移動の程度	□ 1.歩き回るのに問題はない□ 3.寝たきりである		くらか問題があ	る	
身の回りの管理	□ 1. 洗面や着替えに問題は □ 3. 自分でできない	ない	くらか問題があ	る	
ふだんの活動	□ 1.問題はない□ 3.行うことができない	☐ 2. V	くらか問題があ	る	
痛み/不快感	□ 1.ない [2. 中程度ある	□ 3.ひと	<u>:</u> '\ \	
不安/ふさぎ込み	□ 1. 問題はない□ 2. 中程度□ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる				
■ 診断基準に関する事項 A. 検査所見 *小数点も1文字として記入する					
心エコー所見					
大動脈は右前、肺動脈は左後の関係で、後方の 血管が左右に分枝し肺動脈であることを示す 1. 該当 2. 非該当 [□ 3. 不明	
大動脈は右室、肺動	脈は左室から起始する	□ 1.該当 □] 2. 非該当	□ 3. 不明	
心臓カテーテル・造影所見					
右房と右室、左房と左室が正常につながり、右室から大動脈が、左室から肺動脈が起始している 1. 該当 2. 非該当 3. 不明				□ 3. 不明	
病型					
□ I型 [□ II型 □ III	型 <u></u> I	V 型		
<診断のカテゴリー>					
心エコーまたは心臓カテーテル・造影所見でA. 検査所見の所見を認める 1. 該当 2. 非該当					

延状の概要、栓	過、特記すべき事	埋なと *	250 又子以	人内かつ7行	IJŊ —		
■ 合併症							
		□ 1. あ	ŋ] 2. なし] 3. 不明
合併症	合併症		中隔欠損	Į [」肺動脈狭窄		大動脈縮窄
		□ 三尖	弁閉鎖不	全 [一不整脈		右心不全
■ 治療その他		T					
在宅酸素療法		□ 1. 実	施] 2. 未実施] 3. 不明
		経皮酸素 (酸素投	飽和度値 与なし)			%	
Rastelli 手術		□ 1. 実	施] 2. 未実施] 3. 不明
心房位転換術		□ 1. 実	施] 2. 未実施] 3. 不明
カテーテルアブレーション		□ 1.実	施] 2. 未実施] 3. 不明
■ 重症度分類 NYHA 分類	に関する事項						
□Ⅰ度	心疾患はあるが! 失神あるいは狭/				かな身体活動で	では疲労、動	悸、呼吸困難、
□ II 度	軽度から中等度の身体活動の制限がある。安静時または軽労作時には無症状。日常労作 のうち、比較的強い労作(例えば、階段上昇、坂道歩行など)で疲労、動悸、呼吸困難、 失神あるいは狭心痛(胸痛)を生ずる。						
□ III 度	高度の身体活動の制限がある。安静時には無症状。日常労作のうち、軽労作(例えば、 平地歩行など)で疲労、動悸、呼吸困難、失神あるいは狭心痛(胸痛)を生ずる。						
□ IV度	IV 度 心疾患のためいかなる身体活動も制限される。心不全症状や狭心痛(胸痛)が安静時にも 存在する。わずかな身体活動でこれらが増悪する。						
■ 体外式補助	人工心臓に関する	事項(使用	者のみ記	已入)			
使用の有無	□ 1. あり						
開始時期	西暦		F [月			

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	□ 1. あり					
開始時期	西暦					
離脱の見込み						
種類	□ 1. 気管切開孔を介した人工呼吸器					
	□ 2. 鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器					
施行状況	□ 1. 間欠的施行 □ 2. 夜間に継続的に施行					
	□ 3. 一日中施行 □ 4. 現在は未施行					
	食事	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助		
	車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助			
		□ 部分介助	□ 全介助			
	整容	□ 自立	□ 自立 □ 部分介助/不可能			
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助		
生活状況	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能			
	歩行	□ 自立	□ 軽度介助			
	少1]	□ 部分介助	□ 全介助			
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助	□ 不能		
	着替え	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助		
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助		
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助		

医療機関名	
指定医番号	
医療機関所在地	
電話番号	*ハイフンを除き、左詰めで記入
医師の氏名	印
	※自筆または押印のこと
記載年月日	西暦

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても 差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近6か月間で最も悪い 状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12 日健発 1112 第 1 号健康局長通知) を参照の上、 ご記入ください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。